

# 個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	岡山セラミックスセンター			所在地	備前市西片上1406番地18		
敷地面積	5,599.47 m <sup>2</sup>			棟数	5 棟 (計画記載対象 2 棟)		
延床面積	2,225.67 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	県内の耐火物産業及びその関連産業における技術開発等の支援を通じてこれらの産業の振興を図るため						
<b>【想定される自然災害】</b>							
予想震度		6弱		津波		3m	
				浸水		0.01m以上0.3m未満	
建築規制	非線引都市計画区域、準工業地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	313,458 kwh	121 m <sup>3</sup>	1,774 m <sup>3</sup>	18 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし ※敷地面積には緑地部分923.00m <sup>2</sup> を含む 敷地内貸付地 あり((一財)岡山セラミックス技術振興財団【指定管理者】、日本セラミックス協会中国四国支部、耐火物技術協会中国四国支部)						

## 1 施設内建物の概況

名称	本館	実験棟
築年(西暦)	1990年	1990年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 1階
建築面積	1,064.63 m <sup>2</sup>	408.00 m <sup>2</sup>
延床面積	1,753.65 m <sup>2</sup>	408.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	事務室、技術相談室、会議室 セミナー室、ミーティングルーム 電子線解析室、X線解析室 他	熱物性実験室、試料加工室 熱間成形強度実験室、変電室 成形実験室、接合実験室、便所
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備(エアコン) 給排水設備(受水槽・揚水ポンプ) 電話交換機	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 冷却塔(試験機器冷却水用)
利用状況	高	高
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	-
	中性化 ※3	-
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	空調設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

劣化の進んでいる設備等について修繕・改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	設備等の改修や定期更新を実施する。
実験棟	設備等の改修や定期更新を実施する。

## 3. 施設全体のスケジュール

### (概要)

劣化の進んでいる設備等について順次更新を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				屋根 (防水層)		空調設備 (エアコン更新)	外壁 シーリング	照明 (LED化)	入室管理 システム更新	
実験棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)							空調設備 (エアコン)		クーリングタワー 更新	

## 4. 概算費用

--

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.1	本館の電話交換機等更新のスケジュールを変更
R5.2	本館の外壁シーリング、空調設備(エアコン)更新及び屋根(防水層)のスケジュールを変更 実験棟の空調設備(エアコン)のスケジュールを追加
R6.1	本館の照明(LED化)のスケジュールを変更
R7.1	本館の入室管理システム更新のスケジュールを変更 実験棟のクーリングタワー更新のスケジュールを変更